

社会資本総合整備計画「三重・滋賀交流圏域における 広域観光活性化計画（重点）」の事後評価

●委員

広域的な観光振興の促進、地域の活性化を図るに当たり、連絡橋の整備は非常にありがたい。また、市営金亀公園と県営金亀公園を結ぶ連絡橋は、防災にも非常に役立つと思う。水害が発生した際は、避難や物資の輸送などに役立つ。この整備を円滑に進めることを期待する。また、ネーミングライツにも期待している。

●委員

成果目標が「観光客数の増加」であるが、計画目標に「地域の活性化を図る」とある。観光客数だけではなく「公園の来訪者数の増加」を指標に加えることは可能ではなかったのか？

○事務局

今後、その指標についても検証したい。

●委員

今後の方針について、新型コロナウイルス感染症の影響とあるが、H30の実績値は、新型コロナウイルス感染症の拡大以前にもかかわらず減少している。また、R2ではさらに減少している。事務局としてどう考えているのか？目標値として妥当なものであったのか？

○事務局

目標値の設定については、H26までの実績値を確認し、過去の上げ幅を含めて、目標値の設定を行った。実績値に用いた彦根城の観光客数は、大河ドラマ、その年に行われたイベントに左右されるため、そのことも推測すべきであった。

●委員

公共事業の評価を考えると、連絡橋ができていない中で評価が難しいとは思いますが、今回の整備がどれだけ貢献するのかについて、ミクロな調査も必要だと思われる。また評価指標の設定の妥当性についても検討が必要と考える。

●委員

事業の進捗状況の写真には、撮影時期を明記してほしい。今後の説明資料についても気を付けてほしい。

また、公園名には「仮称」と記載の部分があるが、正式名称は決まったのか？市営と県営

で同じ名前で支障がないのか？

○事務局

現在、正式名称として「金亀公園」と使用しているのは市営のみ。説明上「市営金亀公園」、「県営金亀公園」と呼び分けている。「県営金亀公園」の正式名称については、現在検討中である。

また、進捗状況の写真①②は1月、それ以外は2月上旬の様子である。

●委員

工事はいつごろ終わるのか？

○事務局

橋げたは工場で作成済みである。3月に架橋する予定である。

●委員

観光客数を増やすためには、ハード整備はベースとなり、その上でいかに魅力的なイベント等をするかが重要だと考える。公園の名称も大切である。

彦根城と一体的に整備する大きな公園の全体が魅力的であるというのが大事である。ものをつくるだけでなく、そこに魂を入れてほしい。その第1歩として名称は重要と考えるので、よく検討してほしい。

●委員

新たにできるスタジアムでは、プロサッカーやラグビーなどの試合による集客は検討しているのか？

○事務局

スタジアムの活用については、計画段階からプロサッカーやラグビーなどを呼び込むことも検討している。また、公園部分の活用においては、地域の活動なども呼び込めるような運営方法を検討している。

●委員

事業効果の発現状況、評価指標の目標値の実現状況については、事業完了後に確認、検証するとあるが、どのように県民にフィードバックするのか？

○事務局

この事業は、次期整備計画にも位置付け、引き続き実施していく。次期整備計画の中間評

価、もしくは事後評価において説明する。

●委員

連絡橋にはスロープが必要かと思う。車いすなどの通行は大丈夫か？

○事務局

連絡橋には市営公園側に1/20の勾配のスロープを設置し、併せて市営公園と県道の歩道にアクセスするエレベーターを設置する予定である。

以上